

平成 30 年度 地域ケアプラザ事業報告書

■ 施設名

上菅田地域ケアプラザ

■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との共通部分

1 全事業共通

地域の現状と課題について

担当エリアすべてに共通する山坂の多い環境は交通のアクセスが悪く、あらゆる面で移動の課題がついて回ります。高齢者・障がい者及び子育て世代には日常的に不便を感じる人が多いと思います。高齢化率は、平成 30 年 9 月時点で保土ヶ谷区平均 25.8%に対し、上菅田地区が 32%、上新地区が 34.8%、笹山地区が 54.9%、千丸台地区が 55.3%と保土ヶ谷区の平均を大きく超えています。笹山地区と千丸台地区の2つの県営団地は既に高齢化率 50%を越えていて、独居高齢者、高齢夫婦、精神障害者、生活保護世帯、生活困窮者等、多くの課題を抱えている現状です。また支える側も高齢化しており、民生委員の欠員、地域支援者等の担い手不足の中で、2025 年問題に突入している現状にどのように対応していくかが大きな課題です。

(1) 相談（高齢者・こども・障害者分野等の情報提供）

- ・定期的な広報誌であるまんまる台通信発行と各事業（福祉祭り・夏祭り・ぷらざカフェ・ほっとなまちづくり・情報連絡会・支え合い連絡会、民生委員児童委員協議会 etc）で、子育て・高齢者・障害者支援の情報発信をできております。
- ・千丸台・笹山のぷらざカフェで受けた相談は地区のニーズとして捉え、地区社会福祉協議会等、地域との協働で動いています。
- ・上菅田地区では、新たに上菅田地区社会福祉協議会の拠点となっている“かみすげた茶屋”で月 1 回の出張相談会を開始しています。また 5 職種連携しながら講習会の実施も視野に入れながら活動しています。
- ・上新地区は、老人会が高齢者の茶話会（サロン）・食事会・生活支援を行う活動ができており、生活支援コーディネーターが側面支援しています。配食サービスは地区社会福祉協議会と民生委員さんとで安否確認とコミュニケーションを兼ねて行っています。

(2) 各事業の連携

- ・昨年と同じく 5 職種全職が地域ケア会議に参加し、各地区及び関係団体と協働して地域課題に取り組むことができています。
- ・各職種は持ち帰った情報や問題・課題について必要な職種と情報共有し、課題の整理・解決への糸口にするようにしています。地域のイベントには職種を問わず参加するよう心がけ、顔の見える関係を構築しながら相談しやすい雰囲気を作っています。
- ・個別ケースカンファレンスでは包括全職種と生活支援コーディネーターが参加し、全職種の視点からもれのない支援を心がけています。

- ・ケアプラザ全部門の連携は、個別ケースから上がってくる地域ニーズを地域交流コーディネーター含めた全スタッフで情報共有し、新事業企画の立案・運営に繋がるよう取り組んでおります。
- ・笹山見守り連絡会では引き続き月1回の定例会に対し、5職種全員が参加し地域との連携に努めました

(3) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

- ・地域交流コーディネーターを欠く年度スタートになりましたが6/1には包括及び地域交流・生活支援・加配分の全職揃って、地域支援に資する体制を作りました。
- ・「個人情報保護に関する研修」についてはマニュアルを活用して、会議の時間に位置づけ実施しております。個人情報の紛失予防として、業務日誌及び携帯電話は1日の業務終了後に引き上げ、備え付けの書庫にしまっております。
- ・包括における公立・中性についてはエリア内のサービスの種類及びサービス提供事業者の情報に偏りがないように公平に利用者に提供し、利用者が選べるように中立を図っています。また、多様な事業者の情報を公平・中立に提供できるよう、情報の把握には全職種の一一致した意見となるよう努めました。

(4) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・4地区それぞれの自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会等との定期的な会議及び情報交換の場を持っています。ぷらざカフェや相談会を通してより相談を受けやすい環境を作ることが出来ています。
- ・千丸台地区と新井町の学地連（新井小・新井中・家庭・地域連絡会）には入所施設を管轄するてらん広場の施設長が新たに参加し、交流を深めました。既に古紙回収を通じたふれあい収集と配食サービスで障害者の地域貢献を通じた交流はありますが、障害者施設と連携することで新たな事業展開が出来る関係を構築していきたいと考えています。
- ・新井小学校キッズクラブによるデイサービス訪問は毎年恒例になっており、高齢福祉を理解してもらう福祉プログラムとなっています。
- ・昨年に引続き、地域のNPO主催“新井小中学校連携キャリア教育「夢」応援プロジェクト”で、障害者グループホーム利用者と“即興表現ワークショップ”を提供しました。小中学生が利用者と実際に体験を通し、楽しみながら交流できる貴重な場となっています。プログラム内でグループホーム所長と連携し地域にある作業所やグループホーム紹介も実施し、障害福祉の理解に繋げる事が出来ています。

(5) 区行政との協働

- ・引き続き第3期保土ヶ谷ほっとなまちづくりを、区・区社会福祉協議会と協働一体的に取り組んでいます。
- ・地区別ほっとなまちづくりに担当職員を割り振り、継続的及び日常的に取り組むことでその推進に寄与しています。
- ・7包括全域で行われた保土ヶ谷区多職種連携全体会議において“ポリファーマシー”をテーマに基調講演とグループワークを開催しました。保土ヶ谷区医師会の基調講演は、薬剤師の役割が重要であり薬剤師を含めた各関係機関が連携することで適切な服薬支援に繋がることを確認しました。
- ・区と市及び区社会福祉協議会からのチラシ等の配架依頼については積極的に応じています。
- ・地域性もあり、昨年に引続き区高齢障害及び生活支援課と協働しながら困難事例、個別支援を継続しています。又民生委員、各関係機関に生活困窮支援制度の普及啓発に努めました。
- ・区子ども家庭支援課と連携しながら毎月1回子育て連絡会を実施しています。

2 地域活動交流事業

(1) 自主企画事業

- ・事業ごとにアンケートを行い、集計したものを地域交流会議で情報共有をし、ケアプラザ内で毎月実施しているプラザ会議において地域事情の情報共有を行い地域のニーズを把握しています。
- ・笹山団地集会所で行っているひだまりでは地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携を図り、地域の居場所作りや見守り、またインストラクターの先生を招いての介護予防体操等を行うことで、地域住民が交流・活動ができる場所の提供をしてきました。
- ・夜のてらん茶屋では季節を感じるイベントとして夏には流しそうめんと一周年記念イベントを開催しています。冬は手作りの一品料理におでんを提供する等を行うことで、地域の居場所として定着してきています。
- ・まんまるフェスタと千丸台文化祭&福祉バザーは同時開催としていますが、今後の目標でもある共催に向けてまんまるフェスタ実行委員、地域、近隣福祉事業所との実行委員会の中で各自役割を担い、共催に向けての基盤作りを行っています。
- ・各地域で生活支援ボランティアが立ちあがったものや、立て直しをしたものをケアプラザ内で共有・把握をしています。今後の活動状況を見ながら、ボランティア研修を実施します。

(2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・今年度も利用団体向けのアンケートを実施、アンケート結果をケアプラザ内にて共有していました。アンケート結果ですぐに改善できることは即日実行し、その他は次年度に向けて改善出来るよう話し合いを行っています。アンケートの結果については施設内の多目的ホールに掲示し、利用者にもわかるように発信してきました。
- ・貸室の空き情報に関しては、昨年に続き活動団体のスケジュールをカレンダーにまとめケアプラザ受付前に掲示しています。
- ・ケアプラザ入口前のコーヒーカウンターとテーブルを活かし、利用団体のリーダーや参加者同士の情報交換、交流の場として提供してきました。情報交換、交流の中から団体の課題が見え、広報紙への掲載、地域で行っている団体への声かけ等の支援に努めてきました。
またケアプラザ文化祭を開催し、貸室団体の練習成果の発表の場を設けました。地域や貸室団体同士の交流を深められるよう促進しています。

(3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・アンケートの結果を活用し、ボランティアが活動しやすいようにコーディネートしてきました。
- ・ボランティア活動の場をケアプラザ内だけではなく地域でも活動できるようコーディネートしてきました。
また、貸室団体の演奏発表を地域で行っているお祭りを中心に、発表できるようコーディネートしてきました。
- ・活動グループ連絡会にて地域活動の活性と担い手不足解消案として地域を越えた活動「支え愛サポーター」の講習、サポーター活動報告を包括支援センターと生活支援コーディネーターとの共催で行いました。サポーター活動の発表やグループワークを通して各団体の情報交換・交流のコーディネートを行うと共に、現在作成中の“地域に繋がるマップ”の情報収集に繋げています。

(4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・隔月に発行している広報紙を活用し、新しい貸室団体の情報や自主事業紹介などを分かりやすく掲載し、情報提供を行いました。
- ・ほっとなまちづくりを通し、会議内や前後の話の中で出てくる地域課題やニーズの情報収集を行いました。
- ・今年度もケアプラ文化祭を開催しました。貸室団体の発表の場を提供することで、地域に貸室団体の情報を発信すると共に、団体間の交流や情報交換を深めることが出来ております。

3 生活支援体制整備事業

(1) 事業実施体制

- ・所長及び5職種で、日常的な情報共有に基づき、互いの業務の専門性を生かしながら、連携・協力のうえ事業に取り組みました。
- ・地域の課題を抽出し、住民主体のグループ活動を地域包括支援センターと共に後方支援するプロセスを、横浜市のコーディネーター共通研修の場で事例発表し、他地区のコーディネーターや他職種と共有することができました。
- ・高齢化や担い手不足が著しい地域の支援を効果的に行うため、地域包括支援センターと共にLSAが配置されている他区のケアプラザに出向き、LSAの取組についてヒアリングを行い、所内や地区支援チームに共有しました。
- ・生活支援整備体制事業に位置づけられる協議体の開催については、所長及び5職種、区役所、区社会協議会と情報を共有しながら進めていくことができました。今年度はこれまでに「笹山見守り連絡会」、「活動グループ連絡会」を開催しました。

(2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・地域のニーズや地域主体で行われている支え合いの活動の状況を把握するため、グループ活動の場、民児協等の地域の会議、イベントに参加しました。顔の見える関係づくりに努め、人間関係を構築することで、日常的に活動の相談を受けられるようになり、他地区の情報提供や、広報、資料作り等の後方支援を行うことができました。
- ・地域包括支援センターと共催し、出張講座やイベントを開催する際は、可能な限りアンケート調査を実施し、地域の現状や課題について認識を深め、参加者のニーズの把握に努めました。
- ・昨年地域と協働して行った地域の困りごとアンケート調査の結果を可視化し、地域の活動団体や地区支援チームと共有しました。「話し相手や話しをする場所がなく孤独感を感じることもある」という声が多くあったことに対しては、直近で出来ることとして、傾聴の活動につなげられるよう「心に寄り添う傾聴講座」を開催しました。また、地域包括支援センターや地域交流コーディネーターと共催し、キャラバンメイトや、民生委員、ちょいボランティアの方々の協力を得ながら介護予防と見守りの視点を持った居場所、「サロンひだまり」を今年度より開催しています。
- ・昨年作成した4地区毎のアセスメントシートをブラッシュアップし、所内で共有しました。

(3) 連携・協議の場

- ・昨年より笹山地区で、ちよいボラの立て直しや地域団体の連携を目標に開催している「笹山見守り連絡会」を今年度も引き続き開催しました。5月には新たなチラシを配布し、ちよいボラの活動を再開しています。活動の再開後はボランティア連絡会を2回開催し、活動の課題の整理や今後の展開について検討しました。今年度は通常の連絡会の他に、拡大版として介護保険事業所や団地の管理会社、区内の消防署の方々にも参加をしていただき、地域の見守りに関わる情報提供、情報共有を行いました。
- ・包括エリアのグループ活動の継続と活性化・発展を目指し、地域包括支援センターと地域交流コーディネーターと共催して、「活動グループ連絡会」を開催しました。昨年の連絡会の中で抽出された、担い手不足やマンネリ化という活動グループの共通課題を共有し、課題の解決に向けた取組の1つとして、「支え愛サポーター」の活動を普及啓発しました。また、住民主体による通いの場が参加者の生きがいがづくりや介護予防、地域づくりにつながっていることを認識してもらえよう、担い手と参加者を明確に区別せず、参加者の誰もが役割を発揮できるよう後方支援をしているサロンの代表者に、活動の発表をしていただきました。

(4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・地域における生活支援コーディネーターの認知度を高めていく為、保土ヶ谷区の1層コーディネーターと区内7ヶアプラザの2層コーディネーターで意見を出し合い、生活支援コーディネーターの取組みや役割をPRする共通のチラシを作成しました。
- ・区内の生活支援コーディネーターの連絡会や、区役所・区社会福祉協議会・ケアプラザで行っている合同カンファレンスの場で情報交換を行い、生活支援体制整備事業における取組の状況・経過を共有し、広域的な課題の解決に向けての連携を図れるよう努めました。
- ・広域的な課題でもある担い手不足を解決する取組の1つとして、組織や団体、地区の枠を超えて、持っている技術や知識を伝えあい、活動の活性化・発展を支援する応援者を「支え愛サポーター」として位置づけ、地域包括支援センターと共にサポーターの活動を普及啓発しました。
- ・ケアプラザの広報誌上で生活支援コーディネーター通信を掲載することで、地域の支え合い活動の取組状況や協議体の進捗状況等、幅広く情報提供を行うことができました。

4 地域包括支援センター運営事業

(1) 総合相談支援業務

① 地域におけるネットワークの構築

- ・4地区のサロンやイベントへは5職種で連携・分担しながら参加し、地域住民、各種団体と顔の見える関係づくりに努めました。
- ・4地区の民児協・ほっとなまちづくり協議会、ささえあい連絡会、笹山見守り連絡会、千丸台情報連絡会に複数の職種で定期的に参加しています。多機関との連携強化、地域の社会資源や情報の収集、課題の把握を行い、5職種内で情報共有することで介護予防事業の地域開催、事業の周知、地域支援に取り組みました。
- ・地域ケア会議では個別ケースを通して、地域住民、医療機関、福祉事業所が顔の見える関係づくりとそれぞれの役割を理解しつなげる機会を作っています。1月の包括域地域ケア会議では事例検討を通して、エリア内の民生委員、ケアマネジャー、サービス事業所、医療機関が地域課題を共有し多機関との連携の維持強化を図れるよう支援します。
- ・認知症キャラバンメイト連絡会「オレンジロバの会」(年4回開催)の中で、情報交換とスキルアップ研修を行い、活動を支援しました。
- ・エリア内の居宅事業所を対象にケアマネ連絡会「20日会」で情報交換、横のつながり、相談しやすい関係づくりを行い、ケアプラ事業の周知や地域資源の情報提供を行いました。

②実態把握

- ・今年度も包括5職種が役割分担しながら積極的に地域のサロンや行事に参加し、地域住民と顔の見える関係づくりを継続し、相談しやすい環境づくりに努めました。
- ・個別相談、個別の地域ケア会議から抽出された地域課題として、孤立している独居者の地域での見守り、精神疾患のある住人への地域での関わり、認知症の増加、ゴミ屋敷の増加等があげられます。
- ・千丸台地区は、隔月で包括と生活支援センターと共催で地域ケア会議を開催し包括、区役所、区社協、医療機関や福祉事業者と地域住民が課題を共有し連携しながら必要に応じ地域のインフォーマルサービスに繋いでいます。
- ・笹山地区で昨年より生活支援コーディネーターがアンケートの検討から立ち上げた月1回の“笹山見守り連絡会”は、地区社協、自治会、民生委員、包括5職種の他、検討テーマにより管理会社（東急コミュニティ）、地域の福祉事業所、老人会、イオン、消防署等参加者も多岐にわたり地域課題に柔軟に対応できる“会”になっています。
- ・カフェ笹山に参加していない住民を対象とし、看護師が中心となり地域交流、生活支援コーディネーター、包括共催で介護予防と居場所造りとして月1回“サロンひだまり”を5月から立ち上げ、現在は毎月20名程の参加があります。
- ・広域的な課題として、今後どの地域でも起こり得る担い手不足の課題を包括ケアマネジャー、ケースワーカー、生活支援コーディネーター、3名が新しい取り組みをしている他区の地域に出向き情報収集を行いました。

③総合相談支援

- ・相談には迅速・丁寧な対応を心がけ、状況に応じて訪問し相談を受けました。ケアプラザで相談を待つだけでなくプラザカフェとして定期的に地域の集会所へ出張し、ケアプラザの事業や地域包括支援センターの周知、気軽に相談できる場づくりを継続しました。上菅田地区では、新たにかみすげた茶屋への出張相談を開始しました。
- ・多問題ケースや独居の方の安否確認を含めた相談対応では、関係機関と連携しながら必要な支援につなげました。
- ・本人または家族に精神疾患があるケースも増えており、区役所、医療機関、生活支援センターと連携し対応しています。1月には、地域向けに実践に生かせる勉強会を開催しました。
- ・地域の高齢化、課題の複雑化により、介護予防事業や地域情報を提供する機会も多くなり、生活支援コーディネーターと連携して相談支援をしています

(2) 権利擁護業務

①成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

成年後見制度の活用促進

- ・昨年に引続き地域包括主任ケアマネジャーと社会福祉士共催で「後見受託専門職との関係づくり」をテーマに合同ケアマネ連絡会を行いました。昨年より更に具体的な内容について情報交換ができました。当事者の権利擁護の観点と、より良い支援を選択していくという共通の立場から連携の必要性を改めて確認することが出来ました。
- ・相談のあった個別ケースでは、本人、家族、承諾の上、適切に任意後見候補者に繋ぐことが出来ました。
- ・スキルアップを図る為、区役所、区社協、市民後見人を含む、7包括合同で今年度、5回、後見制度の勉強会を行いました。
- ・5月に地域住民を対象に行った終活講座の中で、ライフステージで利用できる制度のひとつとして成年後見制度の説明をしました。1月と3月に2回、地域住民を対象とした後見制度の説明を行いました。

消費者被害の防止及び対応

- ・消費者被害の現状の説明及び注意喚起、ちらしの配布を包括内で情報共有し4地区の民児協、笹山見守り連絡会、笹山団地幹事会、上新地区老人会、エリア内のケアマネジャー連絡会（20日会）で行いました。詐欺被害の関心は高く、民生委員からの報告でクーリングオフの手続きを代わって行った事例や、未遂に終わった案件など複数の情報が寄せられた実態があるため、引き続き注意喚起をおこなっていくと共に、地域の見守りのポイント等併せて伝えながら予防啓発に努めました。

②高齢者虐待への対応

- ・9月の民生委員・ケアマネ連絡で事例検討会を行いました。ネグレクト・セルフネグレクトにつながる可能性のある事例を通して意見交換し区内の虐待の実態と地域の見守りと関係機関との連携が虐待防止、早期発見につながることを確認しました。高齢者虐待予防、介護者の介護負担軽減のための「介護者の集い」として情報交換会を3回、施設見学会を2回開催しました。介護者同士の話し合いの中で、共感やアドバイスができました。
- ・区役所、区内地域ケアプラザと区域の取り組みとして、区内5病院との情報交換会を行い、デイサービス事業所向けの研修会を予定しています。医療機関との情報交換会では、各機関の対応や取り組みを知り顔の見える関係構築を図りました。デイサービス事業所向けに虐待防止指針を基に、虐待と要介護者支援についての視点を養える研修会を予定しています。
- ・相談電話、通報を受けた時に虐待ケースの見極め、聞き取り、情報収集が包括内の誰でも同じ対応ができるように、社会福祉士の分科会を通じて虐待防止指針とマニュアルの理解、事例検討の研修を2回行いました。
- ・通報のあった個別ケースでは、区役所、サービス事業所と連携し在宅生活を送りながら虐待の解消を図れる方法を探りました。ADL低下のため最終的には施設入所となりました。

③認知症

- ・区域全体として、昨年に引き続き認知症部会で取り組んでいる、若年性認知症への取り組み、育生会横浜病院、保土ヶ谷中央病院、東京ガス、郵便局における認知症講座を、役割分担しながら実施しました。
- ・エリア内では5職種とキャラバン・メイトが連携しながら認知症サポーター養成講座を開催出来ています。5月、上新地区老人会で認知症サポーター養成講座と介護予防の体力測定を2部制で開催しました。7月上菅田小学校のPTA向けに、若年性認知症の情報提供をしながらサポーター養成講座を実施出来ました。学校関係は福祉教育の一環として、上菅田小学校、新井小学校、笹山小学校、新井中学校、上菅田中学校と認知症サポーター養成講座を実施しました。
- ・キャラバン・メイトの活動としては、区域内的キャラバン・メイト交流会に8名参加し地区のキャラバン・メイトと情報交換しました。認知症カフェの立ち上げ等参考になる話が聞けて良かったとの感想がありました。
- ・11月に上菅田、上新合同の、“ほっとな福祉健康まつり”に“認知症になっても安心して暮せる街づくり”をテーマにブースを出展し認知症の普及啓発に努めました。情報発信を行いながらも個別相談につながるケースやアンケートを介して情報交換出来たり、地域のニーズ把握も出来、有意義な場となりました。
- ・3月に1回のペースでキャラバン・メイト連絡会“オレンジロバの会”を実施し、講座の振り返りや内容について確認作業や意見交換をしています。9月から打ち合わせの後、認知症ケア技法を3回に分けてDVD鑑賞し認知症の理解を深めました。横浜市で開催された介護フェアにもメイトの有志が参加しスキルアップに努めています。次年度はこの経験を活かしながら事業展開できるよう地域及び5職種と連携していきます。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・5職種で、千丸台、笹山、上菅田、上新地区の各地域で定期的開催されている会議や集まりに積極的に参加し、地域住民と関係者への情報提供と情報の共有、連携に努め、地域の課題解決に向けて話し合いました。
 - 既存の連絡会やサロン、ぷらざカフェを通して、医療機関、ケアマネジャー、民生委員、地域住民とのネットワークづくりに務めました。
 - ・地域で実施した自主事業、地域で開催した会議、プラザで主催した連絡会等
- ① ぷらざカフェ千丸台：地域ケア会議を4回実施
 - ② 千丸台情報連絡会：区役所と一緒に地域ケア会議で上がった課題を民生委員等で共有し、今後の地域の在り方について検討
 - ③ ぷらざカフェ笹山：笹山見守り連絡会を毎回実施、地域のケアマネジャーも参加
 - ④ サロンひだまり
 - ⑤ 笹山支え合い連絡会：地域ケア会議の実施
 - ⑥ かみすげた茶屋
 - ⑦ 各4地区のほとなまちづくり懇談会
 - ⑧ 各4地区の民生児童委員協議会
 - ⑨ ケアマネ連絡会「20日会」：ケアマネジャーと民生委員との情報交換会と勉強会
 - ⑩ 医療介護地域連携連絡会：医療機関、ケアマネジャー、事業所、民生委員、行政機関、ケアプラザとの情報交換会と勉強会

②医療・介護の連携推進支援

- ・区役所と共催で「保土ヶ区多職種連携全体会」を実施し、医療と介護の連携をテーマに勉強会と情報交換会を行い、関係機関によるネットワーク作りの構築を図りました。テーマが「ポリファーマシー」だったので薬剤師と歯科医師の参加が多数ありました。
- ・「医療介護地域連携連絡会」を1月に開催しました。
- 9月に行った民生委員とケアマネジャーの連絡会で行った事例検討会のやり方で行いました。また今回新たに声かけしたデイサービスとヘルパー事業所3か所が初めての参加で、新たな連携作りが期待できます。
- ・「ぷらざカフェ」の藤田先生のミニ講座、地域ケア会議を通して医療機関、地域住民、ケアマネジャーとの顔の見える関係作りと日頃の活動の連携に務めました。医療機関とは会を重ねながら地道に関係作りを行う事が必要と感じています。

③ケアマネジャー支援

- ・相談への支援、支援困難ケースへの支援、緊急対応時の支援等を随時行いました。
- ・「ぷらざカフェ」の勉強会と地域ケア会議にケアマネジャーが参加して民生委員、医療機関、地域住民と地域課題、個別課題を共有し、今後に向けて検討し地域、関係機関等との連携、顔の見える関係作りに繋げました。
- ・ケアマネ連絡会
- 「合同ケアマネ連絡会」：7回実施（区内7包括との合同開催）ケアマネジャーを対象とした勉強会と情報交換会です。テーマが毎回好評で参加者が多いため今年は主に星川公会堂で開催しました。
- ・「主任ケアマネジャー連絡会」：3回実施（区内7包括との合同開催）居宅支援事業所の主任ケアマネジャーを対象に地域包括ケアシステムの理解を深めるための研修会を行い、ケアマネジャーのスキルアップを図りました。

・「20日会」：5回実施

上菅田エリアのケアマネジャーを対象に事例検討会、情報交換会を実施し、民生委員との連携とケアマネジャー同士の横の繋がりを作るための機会としました。長年の事業の継続とイベント等でもともと顔の見える関係はできているので、会を重ねる事でさらに事業所を越えて横の関係が深まっているように思います。

・3月に包括看護師と一緒に新任ケアマネジャー研修終了後のフォローアップで「介護予防支援」の勉強会を開催予定です。

・「ほどがやケアネット」保土ヶ谷区居宅事業所連絡会への支援を行いました。

・「新任・就労予定ケアマネジャー研修」：(区内7包括との合同開催) 新任ケアマネジャーを対象に4日間の研修会を実施しました。内容は行政サービス等の講義、施設見学会、先輩ケアマネジャーとの同行訪問、反町福祉機器センター見学&講義を行いました。例年通り4日間の内容は盛りだくさんですが、充実しているとのことでケアマネジャーにはとても好評です。

(4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

・「保土ヶ谷区多職種連携全体会」：区役所、在宅医療相談室、保土ヶ谷区内7包括との合同で開催しました。今年は夜の開催となったためか、昨年よりも参加者が多く、多職種のそれぞれの機関と情報の共有が出来、今後の活動に繋がるきっかけになったのではないかと感じました。

・「上菅田医療介護連携連絡会」：1月開催。区役所と共催。上菅田エリアに関わっている近隣の医療機関、事業所、エリアの民生委員が集まり、これまで地域ケア会議で上がった共通する地域課題をテーマに、包括レベルの地域ケア会議として事例検討を行いました。

・地域ケア会議の開催

「ぶらざカフェ千丸台」：4回実施

「笹山支え合い連絡会」：1回実施

区役所、生活支援センター、千丸台地区社会福祉協議会、笹山民生児童委員協議会、との共催「笹山支え合い連絡会」の中では民生委員の勉強会を兼ねて開催しました。それぞれの参加者は行政機関、地域住民、地域ケアプラザのいつものメンバーの他にケアマネジャーと、ヘルパー事業所、港北病院の訪問看護師でした。特に今回は訪問看護師とケアマネジャーが3名全員初めての参加だったので、地域ケア会議を理解してもらった事、併せて地域を知ってもらう良い機会になったと思います。

・1月に開催した「上菅田医療介護地域連携連絡会」では、包括レベルの地域ケア会議で事例検討を実施し、地域課題の解決に向けた検討を行いました。

来年度は、上新地区、上菅田地区で開催する予定です。

(5) 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- ・要支援者には介護予防について説明し理解していただき、本人ができることはできる限り本人が行うよう支援しています。意欲を引き出し、老人会や自治会、趣味の会など誰もが集える居場所に参加し、自分なりの役割を発揮して自立した生活が送れるよう、地域の資源を活かしたケアマネジメントを心がけています。そのためにも、5職種と民児協、地区社協理事会等の会議や地域の活動に参加し、地域資源の発掘や把握に努めました。その際には、地域活動をするのが介護予防につながることを話し、地域活動の参加を勧めています。
- ・委託ケアマネジャーには地域とつながる視点を重視し、地域のインフォーマルサービスの情報提供を行い、積極的に活用してケアプランに取込みやすくなるように支援しました。
- ・ケアマネジャー経験2年目の委託ケアマネジャーは個別でケアプラン作成のアドバイスを行い、ケアプラン作成支援をしました。
- ・3月に、主任ケアマネジャー新任ケアマネジャー対象に介護予防、自立支援の考え方の研修を行いました。

(6) 一般介護予防事業

一般介護予防事業

① 普及啓発

- ・各地区に積極的に向き、今年度は消防署による転倒予防等の予防救急啓発、歯科医師の健康講座や調剤薬局医療推進部を活用して管理栄養士と薬剤師等専門職の多様な視点を生かした介護予防、健康づくりの普及啓発を行いました。上新地区では介護予防教室を地域の保健活動推進員と共催し、健康づくりの知識を伝える役割を発揮していただき、次年度も共催予定となりました。笹山地区は体操教室を通年開催とし、階段の昇降ができる下肢筋力づくりに取り組んでいます。また、2地区のイベントに生活支援コーディネーターと連携を図り、支え愛サポーター、健康運動指導士、ヘルスメイト、調剤薬局管理栄養士と薬剤師の協力を得て、「血管年齢と動脈硬化」「食生活と栄養」「お薬相談」「楽しくシナプソロジー」をテーマに出展し、地域住民が健康に関心を持ち、生活習慣を見直す機会となるよう健康づくりの啓発を行いました。

② 介護予防の活動場づくり

- ・運動機能低下や閉じこもりリスクの高い笹山地区に生活支援コーディネーターと地域交流コーディネーターと共催して、体操教室を取り入れた「サロンひだまり」を通年開催し、介護予防活動と居場所づくりに取り組んでいます。次年度はふれあう集いの場としての役割も持ち、孤立防止に努めていきます。また、上菅田地区社協の拠点「かみすげた茶屋」に働きかけを行い、10月より出張相談を開始しています。地域包括支援センターを周知すると共に、介護予防の必要性を伝えていきます。今後は5職種と連携した講座を実施しながら、健康づくりの場への展開を検討していきます。
- ・介護予防活動に取り組む「サロン WAIWAI」に区役所と共に向き、きらりシニア塾の申請を行いました。

③ 支えあう活動団体と担い手づくり

- ・今年度も生活支援コーディネーターと地域交流コーディネーターと共催し、活動の継続と活性化に向けて「活動グループ連絡会」を開催しました。前年度のワークから抽出された共通課題である、担い手不足を解決するための具体的な支えあう仕組み「支え愛サポーター」の活動の啓発と活用を勧めました。活動団体の枠や自治区を超えて支えあう仕組みを発信し、包括域で支え愛サポーターが循環することを目指します。

- ・ 全員参加型サロンの1事例として、担い手不足で存続が危ぶまれた「サロン de 芙蓉ヶ丘」が、参加者の誰もができることを行い自分なりの役割を發揮して、生き生きと動き出す過程を発表していただきました。住民主体の居場所のあり方について、引き続き活動グループ連絡会で投げかけて行こうと考えています。
- ・ 前年度開催した体力測定ボランティア養成講座のフォローアップ研修を2月に行う予定です。主体的な体力測定の実施と、評価ができるようになることを目指します。そして、支え愛サポーターとして、地域の介護予防活動を応援する働きかけを行っています。

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

施設の適正な管理について

(1) 施設の維持管理について

- ・ エレベーター保守点検の実施
- ・ 自動ドアの定期点検
- ・ 定期的なジュータン清掃の実施
- ・ 防火管理の遂行
- ・ 受電設備の保守点検の実施
- ・ 飲料水の受水槽清掃の実施
- ・ 水質検査の実施
- ・ ボイラー点検

(2) 効率的な運営への取組について

- ・ 省エネ経費削減対策として、照明のLED化を図りました。
- ・ 施設運営については、法人本部との連携において人事、労務、経理について業務の役割分担を行い、効率化を図りました。

(3) 苦情受付体制について

- ・ 苦情受付は、「上菅田地域ケアプラザ相談窓口」を設け、掲示し利用者の方々に周知しました。また、「なんでもご意見箱」を常時設置し、苦情をはじめ、ご意見、ご要望等を受け付ける体制を整えています。

(4) 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- ・ 法人が制定している「災害対策マニュアル」を基本に体制を整え、今年度は、法人が運営管理している「ライフメール」（職員の携帯電話による安否確認）の訓練を2回実施しました。
- ・ 特別避難場所としての「上菅田地域ケアプラザ災害対応マニュアル」を制定し、体制を整えました。また、横浜市からの追加の物資補給を受けました。
- ・ 地域の防災拠点運営委員会（新井小学校地域防災拠点管理委員会）に参加しました。また、新井小学校地域防災拠点での避難訓練にも参加し、連携を図りました。
- ・ 千丸台商店街「ふれあい館」の防犯パトロールに参加し、連携を図りました。また、無線機を設置し緊急時の連絡体制を強化しました。

(5) 事故防止への取組について

- ・全職員が事故の未然防止の意識を持って業務に当たり、常に危機意識を持って対応をしました。
- ・通所介護事業においては、朝の打ち合わせ時に、必ず利用者の方々の状態の確認をし、事故防止に努めました。
事故報告、インシデント報告は速やかに行い、会議等で検証・検討し、事故再発防止に努めました。

(6) 個人情報保護の体制及び取組について

- ・個人情報保護の取組として、年度初めの職員会議、新規採用時、異動等の際に必ず研修を行い、職員の意識確認・向上に努めました。
- ・個人情報が記載されている書類等は、施錠がされている棚に保管をし、基本的には持ち出し禁止として個人情報保護に努めました。

(7) 情報公開への取組について

- ・地域ケアプラザの情報に関しては、広報紙「まんまるだい通信」を毎月発行し、広く地域に伝えました。また、ホームページにも活動状況を掲載し、広報に努めました。
- ・通所介護事業については、新聞「ひまわり」の発行により利用者の方々やご家族に活動について広報しました。
- ・利用者本人又は家族よりサービスの内容・情報等の閲覧希望があれば、適宜開示できる対応に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

30年度はデイサービスの月例会議で、認知症の利用者の方々に対する家族対応、介護・医療の連携など50事例の読み合わせを実施し、そのケースについて話し合う時間を確保しました。認知症で苦しむ利用者の方々や家族への共感を通して、人権に関する学びとしました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

- ・県の条例に基づき、館内及び敷地内の禁煙を実施し、利用者の方々にも協力をしていただきました。
- ・日々の清掃を基本とし、また定期的な業者による館内清掃を実施し、環境衛生を優先事項として取り組むことで、利用者の方々への快適な環境の提供に努めました。

介護保険事業

● 指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	1名（常勤兼務）
保健師等	1名（常勤兼務）
主任介護支援専門員	1名（常勤兼務）
社会福祉士	1名（常勤兼務）

《目標に対する成果等》

- ・ご本人が希望のもてる将来像をイメージすることができるように支援して、且つそのイメージを目標とし一緒に行動することができるよう信頼関係作りに努めました。
- ・フォーマル及びインフォーマルサービスを有効活用していき、地域における各種関係機関とも連携しながら独自の支援計画の作成に努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特になし
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・各地域で開催している教室や会合、サロン等に積極的に参加をし、介護予防の普及や情報提供に努めました。
- ・当ケアプラザは来所するには交通が不便という意見が以前より多くあり、継続して地域に出向いてぷらざカフェ、介護予防教室や講座など多く開催して、地域の方たちの交流の場づくりに努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
206	206	207	205	206	204
10月	11月	12月	1月	2月	3月
202	214	215	221	219	217

● 居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤専従）
 介護支援専門員 1名（常勤兼務）
 介護支援専門員 1名（非常勤専従）
 事務員 1名（常勤兼務）

《目標に対する成果等》

ご自宅での生活を希望する要介護者及びご家族にとって必要と思われるサービスについて、介護保険サービスのみならずインフォーマルサービスを含めて幅広く情報提供や紹介等をさせていただきながら、納得される適切なケアプランを作成するよう努めてきました。特に苦情など寄せられることもなく年度を経過しています。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 特に無し。
-
-

《その他（特徴的な取組、PR等）》

ここの地域特性でもある独居や身寄りのない方や、或いは認知症や精神疾患など多問題を抱えている困難ケースを積極的に担当するように努めています。また、上菅田地域包括支援センター、民生委員、介護保険サービス事業所、医療機関、区役所及びその他関係機関との連携を図りながら、質の良いサービスが提供できてご自宅で安心して暮らせるように日々努めています。

《利用者実績》

4月	5月	6月	7月	8月	9月
69	83	85	86	97	93
10月	11月	12月	1月	2月	3月
84	83	86	89	90	93

● 通所介護・認知症対応型通所介護(対象外)

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1） 円

（要介護2） 円

（要介護3） 円

（要介護4） 円

（要介護5） 円

● 食費負担 円

-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

● 介護予防通所介護・第1号通所事業・介護予防認知症対応型通所介護(対象外)

《提供するサービス内容》

-
-
-

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分
（事業対象者） 円
- （要支援1） 円
- （要支援2） 円
- 食費負担 円
-
-

※ その他、実費相当を徴収するものについては、各施設で項目を増やして記載をしてください。

《事業実施日数》 週 日

《提供時間》 : ~ : （半角で入力 例 9:00~15:00）

《職員体制》

《目標に対する成果等》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
10月	11月	12月	1月	2月	3月

平成30年度「上菅田地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,702,304	62,000	19,764,304	19,347,028	417,276	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	0	0	
自主事業収入	0		0	839,040	△ 839,040	
雑入	0		0	34,830	△ 34,830	
印刷代	0		0	12,570	△ 12,570	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他 (指定管理料充当)	0		0	22,260	△ 22,260	
その他 (施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他 (提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	19,702,304	62,000	19,764,304	20,220,898	△ 456,594	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	10,824,366	△ 135,366	
本俸	8,824,000		8,824,000	7,600,308	1,223,692	
社会保険料	941,000		941,000	1,071,980	△ 130,980	
手当計	639,000		639,000	2,002,437	△ 1,363,437	
健康診断費	23,000		23,000	0	23,000	
勤労者福祉共済掛金	166,000		166,000	32,263	133,737	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	96,000		96,000	117,378	△ 21,378	
その他	0		0	0	0	
事務費	811,440	62,000	873,440	1,211,192	△ 337,752	
旅費	20,000		20,000	300	19,700	
消耗品費	300,000		300,000	241,885	58,115	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	8,000		8,000	5,400	2,600	
通信費	100,000		100,000	194,547	△ 94,547	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	102,928	△ 2,928	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	8,663	△ 8,663	
職員等研修費	10,000		10,000	11,940	△ 1,940	
振込手数料	10,000		10,000	2,160	7,840	
リース料	100,000		100,000	74,712	25,288	
手数料	5,000		5,000	12,960	△ 7,960	
地域協力費	110,000		110,000	68,400	41,600	
その他	110,440	62,000	172,440	487,297	△ 314,857	
事業費	1,187,829	0	1,187,829	1,420,572	△ 232,743	
運営協議会経費	42,000		42,000	20,300	21,700	
指定管理料充当 事業	1,145,829		1,145,829	1,400,272	△ 254,443	
管理費	6,158,915	0	6,158,915	5,898,819	260,096	
建築物・建築設備点検	0	0	0	0	0	
光熱水費	4,000,000	0	4,000,000	4,312,612	△ 312,612	
電気料金	0		0	2,145,404	△ 2,145,404	
ガス料金	0		0	652,286	△ 652,286	
水道料金	0		0	1,514,922	△ 1,514,922	
清掃費	134,000		134,000	379,893	△ 245,893	
修繕費	474,000	0	474,000	473,161	839	
機械整備費	0		0	402,052	△ 402,052	
設備保全費	800,000	0	800,000	331,101	468,899	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	200,000		200,000	109,816	90,184	
電気設備保守	100,000		100,000	48,576	51,424	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	500,000		500,000	0	500,000	
共益費	0		0	0	0	
その他	750,915	0	750,915	172,709	578,206	
公租公課	855,120	0	855,120	865,949	△ 10,829	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	855,120		855,120	865,949	△ 10,829	
印紙税	0		0	0	0	
その他 ()	0		0	0	0	
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	
本部分				0	0	
当該施設分				0	0	
二一三対応費				0	0	
支出合計	19,702,304	62,000	19,764,304	20,220,898	△ 456,594	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	800,000		800,000	839,040	△ 39,040	自主事業への参加料等
自主事業費支出	800,000		800,000	1,400,272	△ 600,272	自主事業経費
自主事業収支	0	0	0	△ 561,232	561,232	

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	22,260	△ 22,260	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	使用料(横浜市への支払等)
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	22,260	△ 22,260	

収支予算書及び報告書（特別会計）＜包括・介護予防・生活支援＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料（包括）	29,122,190	17,000	29,139,190	27,819,827	1,319,363	横浜市より
指定管理料（介護予防）	147,800		147,800	147,935	△ 135	横浜市より
指定管理料（生活支援）	5,789,000		5,789,000	3,377,239	2,411,761	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当事業（包括）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（介護予防）	0		0	0	0	
指定管理料充当事業（生活支援）	0		0	0	0	
自主事業収入	0		0	0	0	
雑入	0	0	0	18,000	△ 18,000	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（指定管理充当分）	0		0	18,000	△ 18,000	
その他（提案時控除 法人負担分）	0		0	0	0	
収入合計	35,058,990	17,000	35,075,990	31,363,001	3,712,989	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	30,999,000	0	30,999,000	24,523,900	6,475,100	
本俸	25,071,000		25,071,000	17,402,143	7,668,857	
社会保険料	3,173,000		3,173,000	3,219,234	△ 46,234	
手当計	1,906,000		1,906,000	3,000,924	△ 1,094,924	
健康診断費	38,000		38,000	0	38,000	
勤労者福祉共済掛金	337,000		337,000	426,087	△ 89,087	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	474,000		474,000	475,512	△ 1,512	
その他	0		0	0	0	
事務費	427,503	17,000	444,503	1,412,265	△ 967,762	
旅費	20,000		20,000	253,834	△ 233,834	
消耗品費	120,000		120,000	212,361	△ 92,361	
会議滞在費	0		0	0	0	
印刷製本費	6,000		6,000	5,580	420	
通信費	100,000		100,000	287,177	△ 187,177	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	40,000		40,000	235,272	△ 195,272	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	9,000		9,000	8,663	337	
職員等研修費	10,000		10,000	36,211	△ 26,211	
振込手数料	10,000		10,000	0	10,000	
リース料	30,000		30,000	23,772	6,228	
手数料	0		0	12,960	△ 12,960	
地域協力費	50,000		50,000	45,000	5,000	
その他	32,503	17,000	49,503	291,435	△ 241,932	
事業費	2,012,515	0	2,012,515	3,858,808	△ 1,846,293	
協力医	630,000		630,000	273,000	357,000	
指定管理料充当 事業（包括）	925,715		925,715	60,634	865,081	
指定管理料充当 事業（介護予防）	147,800		147,800	147,935	△ 135	
指定管理料充当 事業（生活支援）	309,000		309,000	3,377,239	△ 3,068,239	
管理費	1,619,972	0	1,619,972	1,568,028	51,944	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	
光熱水費	1,242,000	0	1,242,000	1,146,390	95,610	
電気料金	0		0	570,296	△ 570,296	
ガス料金	0		0	173,393	△ 173,393	
水道料金	0		0	402,701	△ 402,701	
清掃費	0		0	100,981	△ 100,981	
修繕費	126,000		126,000	125,773	227	
機械警備費	0		0	106,872	△ 106,872	
設備保全費	142,000	0	142,000	88,012	53,988	
空調衛生設備保守	0		0	0	0	
消防設備保守	30,000		30,000	29,191	809	
電気設備保守	12,000		12,000	12,912	△ 912	
害虫駆除清掃保守	0		0	0	0	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	100,000		100,000	45,909	54,091	
共益費	0		0	0	0	
その他	109,972		109,972	0	109,972	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税	0		0	0	0	
その他（ ）	0		0	0	0	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一対対応費			0	0	0	
支出合計	35,058,990	17,000	35,075,990	31,363,001	3,712,989	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費収入	0		0	0	0	自主事業への参加料等
自主事業費支出	0		0	106,533	△ 106,533	自主事業経費
自主事業収支	0		0	△ 106,533	106,533	

管理許可・目的外使用許可収入			0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出			0	0	0	使用料（横浜市への支払等）
管理許可・目的外使用許可収支	0	0	0	0	0	

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

平成30年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

平成30年4月1日～平成31年3月31日

施設名:地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			予防通所介護・第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	4,610	5,799		14,343	14,017							
	その他	6,910	6,483		0	0							
	介護予防ケアマネジメント費	6,910	6,483		0	0							
	事業・負担金収入	0	0		0	0							
	その他	0	0	0	0	0	0				0		0
収入合計(A)		11,520	12,282	-762	14,343	14,017	326	0	0	0	0	0	0
支出	人件費				16,050	16,038							
	事務費	20	8		540	519							
	事業費	320	385		8	290							
	管理費												
	その他	7,120	8,112										
	利用者負担軽減額	0	0										
	消費税	0	0										
	介護予防プラン委託料	7,120	8,112										
				0			0				0		0
	その他	0	0	0			0				0		0
支出合計(B)		7,460	8,505	0	16,598	16,847	0	0	0	0	0	0	0
収支(A)-(B)		4,060	3,777	-762	-2,255	-2,830	326	0	0	0	0	0	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

上菅田地域ケアプラザ

事業名	①募集対象者	自主事業決算額						
	②募集人数	総経費	収入			支出		
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他
オレンジロバの会	地域(キャラバン・メイト)	0	地活					
	73		包括					
	無料		介護					
			生活					
認知症サポーター養成講座	地域(介護者)	0	地活					
	490		包括					
	無料		介護					
			生活					
終活講座	地域(高齢者)	8,500	地活				8,000	
	50		包括	8,500				500
	無料		介護					
			生活					
ぷらざカフェ千丸台	地域	5,500	地活					
	293		包括	5,500				5,500
	無料		介護					
			生活					
ぷらざカフェ笹山	地域	27,511	地活					
	292		包括	27,511			7,511	20,000
	無料		介護					
			生活					
配食サービス「まんまる」	高齢者(障害者)	422,778	地活	9,578	413,200			422,778
	1043		包括					
	400円		介護					
			生活					
おもちゃ図書館(子育て広場)	乳幼児	0	地活					
	934		包括					
	無料		介護					
			生活					
てらんカフェ	地域	82,479	地活	21,179	61,300			82,479
	238		包括					
	50円から100円		介護					
			生活					
てらんクラブ	乳幼児	0	地活					
	121		包括					
	無料		介護					
			生活					
ミニデイサービスてらん「森の友」	高齢者	118,948	地活	34,948	84,000			118,948
	218		包括					
	300円		介護					
			生活					
喫茶コーナー	地域	0	地活					
	614		包括					
	無料		介護					
			生活					
福祉作業所製品場所の提供・販売・調整	地域	0	地活					
	2,000		包括					
	無料		介護					
			生活					

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
買い物「おたすけマン」	地域	0	地活						
	2		包括						
	無料		介護						
			生活						
笹山配食サービス「ひまわり」	高齢者(障害者)	0	地活						
	331		包括						
	350円		介護						
			生活						
健康づくり教室	高齢者	122,507	地活	122,507				122,507	
	188		包括						
	無料		介護						
			生活						
千丸台ふれあい収集	高齢者(障害者)	0	地活						
	3,212		包括						
	無料		介護						
			生活						
てらん茶屋	地域	44,188	地活	188	44,000			44,188	
	228		包括						
	0円から150円		介護						
			生活						
千丸台朝市	地域	0	地活						
	350		包括						
	無料		介護						
			生活						
てらんこども太鼓	子ども	22,000	地活	22,000				22,000	
	163		包括						
	無料		介護						
			生活						
てらん茶屋 夜ver.	地域	153,458	地活	45,458	108,000			153,458	
	375		包括						
	0円から500円		介護						
			生活						
きらきらコパン	乳幼児	3,585	地活	2,685	900			3,585	
	18		包括						
	100円		介護						
			生活						
手話「ひまわり」	地域	0	地活						
	43		包括						
	無料		介護						
			生活						
まんまる太鼓	高齢者	24,000	地活	24,000				24,000	
	155		包括						
	無料		介護						
			生活						
介護予防普及啓発事業	高齢者	147,935	地活						
	1059		包括						
	無料		介護	147,935	0	0	89,684	24,120	34,131
			生活						
地域介護予防活動支援事業	高齢者	0	地活						
	362		包括						
	無料		介護						
			生活						

事業名	①募集対象者	自主事業決算額							
	②募集人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		委託料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
楽しく健康体操	高齢者	50,000	地活	50,000					50,000
	39		包括						
	無料		介護						
			生活						
ほっとフレンズ2018 夏	障害児・者	0	地活						
	49		包括						
	無料		介護						
			生活						
消費者被害普及啓発	地域	0	地活						
	171		包括						
	無料		介護						
			生活						
まんまるフェスタ、千丸台文化祭&福祉バザー同時開催	地域	275,806	地活	246,166	29,640				275,806
	5,000		包括						
	無料		介護						
			生活						
ほどがや区民祭りの参加	地域	0	地活						
	400		包括						
	無料		介護						
			生活						
ケアプラザ文化祭	地域	0	地活						
	100		包括						
	無料		介護						
			生活						
区内病院認知症講座	地域	0	地活						
	81		包括						
	無料		介護						
			生活						
新井小中学校キャリア教育プログラム参加	子ども	0	地活						
	26		包括						
	無料		介護						
			生活						
介護者のつどい(えがおの会)	高齢者	5,000	地活						
	10		包括	5,000			5,000		
	無料		介護						
			生活						
心に寄り添う傾聴講座	地域	8,909	地活						
	24		包括						
	無料		介護						
			生活	8,909		8,909			
ほっとフレンズ2019 春	障害児・者	80,523	地活	(17,477)	98,000				80,523
	54		包括						
	無料		介護						
			生活						
多職種連携連絡会	ケアマネ、医療機関、地域、福祉事業所	7,153	地活						7,153
	80		包括	7,153					
	無料		介護						
			生活						
合同ケアマネ連絡会	ケアマネジャー	6,970	地活						6,970
	668		包括	6,970					
	無料		介護						
			生活						

上菅田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
オレンジロボの会	<p>目的：担当地域におけるキャラバン・メイトの自主的な組織化を図ると共に、地域における認知症の方々の見守り活動を広げていく。</p> <p>内容：3ヵ月に1回のペースで開催。サポーター養成講座の計画確認、役割分担、今後の活動における振り返りや情報交換を行うと共に認知症の対応に関する勉強会を行いながらスキルアップに努める。</p> <p>対象：(地域)キャラバン・メイト</p>	5月・9月・11月・2月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
認知症サポーター養成講座	<p>目的：認知症の偏見を無くし、正しく理解をしてもらいながら地域の中で家族、本人の見守りサポーターを増やしていく</p> <p>内容：認知症を正しく理解してもらおう普及啓発としてキャラバン・メイトを中心に地域住民、小中学校を対象に講座を開催</p> <p>対象：地域(小中学校)</p>	5月・7月・12月(2回)・1月・2月(2回) 全7回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
終活講座	<p>目的：独居や高齢世帯が多い中で終活というテーマで講座を持つことにより、自身の最期をどのように迎えるか段階的に様々な視点でとらえることができ、準備していくきっかけとなる。</p> <p>内容：参加者が自身の視点から死後までどのように準備していくか、エンディングノートを活用しながら行って行く。併せて、地域の中で行われている事業や、行政サービス、後見、介護保険サービスの説明を行っていく。</p> <p>対象：地域</p>	5月・3月 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ぷらざカフェ千丸台	<p>目的：地域に出向き専門職がお話を伺い、関係機関の紹介や地域の情報提供を行う身近な相談窓口。講座開催を通じて周知啓発を図ると共に、しゃべり場として顔の見える関係づくりに努める。</p> <p>内容：生活支援センターとの共催「地域ケア会議」・包括による介護予防、終活などの講座開催と軽食会・協力医藤田医院の医師による健康に関するミニ講座。</p> <p>対象：地域</p>	毎月第2・4水曜日 全20回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ぷらざカフェ 笹山	目的：地域に出向き専門職がお話を伺い、関係機関の紹介や地域の情報提供を行う身近な相談窓口。講座開催を通じて周知啓発を図ると共に、しゃべり場として顔の見える関係づくりに努める。自治会、地区社協、民生委員との情報交換。 内容：サロン(地域住民が自由に集える場所として提供)・包括による介護予防、終活などの講座開催と軽食会・同時に介護予防目的に小物作り、麻雀や将棋、和太鼓教室を提供している。 対象：地域	毎月第4火曜日 全10回
事業名	目的・内容	実施時期・回数
配食サービス 「まんまる」	目的：引きこもりがちな高齢者や食事作りが難しい方(障害者含む)への配食支援。安否確認と広報紙配布など情報提供。 内容：ボランティアによる高齢者、障害者への手作り弁当の配達1食400円にて提供 対象：高齢者(障害者)	毎月第1・2・3水曜日 全32回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ図書館(子育て広場)	目的：近隣地域在住で子育て中の親子へ仲間づくり、交流、情報提供による子育て支援 内容：お部屋の開放。おもちゃ・ビデオ・DVD・絵本・布絵本・紙芝居等の貸出し。 対象：乳幼児	月曜日から土曜日 全144回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんカフェ	目的：活動団体利用終了後の喫茶や地域の方の待ち合わせに利用できる場として、またこれらを通して地域交流となる憩いの場作りとして。 内容：ボランティアによる喫茶(コーヒー・紅茶)販売 対象：地域	毎週木曜日 全35回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらんクラブ	目的：親子の心と体のふれあい。体操やレクリエーションを行うことにより、発達機能や情緒を養う。 内容：親子体操教室。平均台・トランポリン等を用いて体を動かし、発達機能や情緒を養う。 対象：乳幼児	4月・7月・11月・3月 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ミニデイサービス てらん「森の友」	目的：原則として介護保険によるサービスを利用していない高齢者（主に独居者）へ、引きこもり防止のために外出の機会を提供する。 内容：ゲーム・夏祭り・ピアノ伴奏で歌声広場・千丸台保育園交流会・歌謡ショー・健康リズム体操等 対象：高齢者	毎月第2土曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
喫茶コーナー	目的：喫茶サービスによる憩いの場の提供。またコーナー付近にチラシや掲示板を置き、情報提供の場としても活用している。 内容：受付カウンターにてコーヒーサービス。 対象：地域	常時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
福祉作業所製品場所の提供・販売・調整	目的：障害者の福祉向上。製品販売による、より良い地域交流。 内容：近隣福祉作業所（織人・ブナの森・こんがり堂・とうふ工房夢21等）の小物、パンやお菓子、味噌、とうふなどの販売・調整 対象：地域	常時

事業名	目的・内容	実施時期・回数
買い物「おたすけマン」	内容：千丸台団地在中の高齢者・障害者の買い物支援、千丸台商店街の活性化、幸陽園・てらん広場の障害者の地域貢献・社会参加 内容：買い物代行サービス 対象：高齢者	毎週月曜日・木曜日 全2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
笹山配食サービス「ひまわり」	目的：笹山団地在住の高齢者・障害者含への配食サービス、障害者(法人内)の地域貢献・社会参加。 内容：障害者(法人内)がお弁当を作り、ボランティアと一緒に配食支援をしている。お弁当箱は保温機能付きの為、味噌汁等温かいまま夕食として食べられる。1食350円 対象：高齢者(障害者)	毎週木曜日配達 毎週金曜日回収 全86回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康づくり教室	目的：高齢者の健康と体力の維持、向上。引きこもり防止、他社との交流。 内容：健康体操教室 対象：高齢者 講師：健康リーブくらぶ	毎月第1・3木曜日 全21回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
千丸台ふれあい収集	目的：千丸台団地在住の高齢者・障害者へのゴミだし支援。法人内障害者の社会貢献。 内容：資源循環局のふれあい収集をケアプラザ・てらん広場が引き継ぎ、てらん広場の利用者と職員が安否確認を兼ねたゴミ回収。 対象：高齢者(障害者)	月曜日から土曜日 全406回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらん茶屋	目的：地域住民である子ども、大人、高齢者、障害児の憩いの場・ふれあいの場としている。港北病院の精神障害のある方や法人内の知的、発達障害のある利用者を招待しての交流の場。 内容：ボランティアによる手作りケーキ、コーヒー、紅茶、カレー等の提供。 対象：地域	毎月第3土曜日 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
千丸台朝市	目的：ケアプラザの理解と宣伝、地域の方と顔の見える関係作りを目的に参加。 内容：模擬店の出店、フリーマーケット等 対象：地域	4月(さくら祭り)・ 6月(朝市)・7月(ふるさと祭り) 全4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらん子ども太鼓	目的：障がいのある子とない子が地域の一員として当たり前暮らし、関わりをもち、地域の中で一緒に学べる場の提供。「自由な発想」「手作り活動」「積極的な交流」を目指し、自分を出せる場が少ない障碍を持つ子供達が、打てば響く和太鼓を通して「自分を表現する場」づくりを目指す。 内容：和太鼓教室 対象：子ども(地域の小中学校在学の個別支援・一般学級に通う子供達)	毎月第4日曜日 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
てらん茶屋夜ver	目的：夕食の提供、交流。 内容：ボランティアによる手作りの軽食を提供。 対象：地域	毎月最終金曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
きらきらコパン	目的：子育て中の親子の仲間作り、交流の場を提供。季節に応じたイベント、子育て支援の情報提供。 内容：リトミック等 対象：乳幼児	6月 全1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
手話ひまわり	目的：視覚障害の方の支援、手話を通して仲間作り、交流の場。手先を動かすことでの介護予防。 内容：手話教室(手話ダンス等) 対象：地域	毎月第3土曜日 全10回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
まんまる太鼓	目的：脳トレによる認知症予防、健康作り、ストレス解消、また参加者同士の交流。 内容：和太鼓教室 対象：高齢者	毎月第4日曜日 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護予防普及啓発事業	目的：身近な地域に出向き、その地域の健康課題に応じた介護予防講座を実施し、健康づくりに取り組む高齢者が増えることを目指す。 内容：地域会場で消防署・言語聴覚士・調剤薬局薬剤師等専門職の多様な視点を生かした介護予防講座やイベントを開催し、介護予防、健康づくりの普及啓発を行なった。 対象：高齢者	通年 全43回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
地域介護予防活動支援事業	<p>目的：既存の活動団体の支援や新たな活動の場づくり、活動ボランティアの育成に取り組むことで、身近な地域に介護予防活動の場や担い手が増え、住民主体の活動が充実することを旨とする。</p> <p>内容：各活動団体に出向いての活動支援、体力測定ボランティア育成研修の実施や活動グループ連絡会を開催し、活動団体の活動の継続・活性化支援に努めた。</p> <p>対象：高齢者</p>	<p>通年 全32回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
楽しく健康体操	<p>目的：介護予防。地域の転倒骨折予防体操グループリーダー研修を目指す。</p> <p>内容：お手玉、タオルを使った体操、脳トレ</p> <p>対象：高齢者</p>	<p>9月・3月 全2回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほっとフレンズ	<p>目的：障害児に「新たな出会いの場」「経験を拡大できる場」「充実したひと時を過ごせる場」の提供。障害児を抱えた家族のレスパイトを図る。障害に理解あるボランティアの育成。関係諸学校、団体との協力関係を深め、区内ケアプラザが障害児支援におけるネットワークの一員となる様に継続的に続ける。</p> <p>内容：夏祭り(8月)・手打ちうどん作り&和太鼓(3月)</p> <p>対象：障害者</p>	<p>8月・3月 全4回(事前説明会含む)</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
消費者被害普及啓発	<p>目的：高齢者を狙う悪質商法未然防止の普及啓発を個人、地域、事業所向けに随時行っていく。個人の注意喚起及び地域での見守り体制が詐欺被害を減らすことに繋がる</p> <p>内容：横浜市消費生活総合センターの資料を配布し詐欺の種類、詐欺被害の実例を挙げながら、クーリングオフ制度の説明も併せて行う。</p> <p>対象：地域</p>	<p>7月・9月(2回)・12月・1月 全5回</p>

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
まんまるフェスタ、千丸台文化祭&福祉バザー同時開催	<p>目的：まんまるフェスタは同愛会職員、利用者、保護者を中心に開催、千丸台文化祭&福祉バザーは千丸台団地自治会、千丸台地区社会福祉協議会、千丸台商店街、近隣福祉事業所を中心に開催、それらイベントを同時開催し交流を図る。また互いの来場者が行き来することでイベント全体の盛り上げを図り、連携して新たなものを作ることで更なる発展を目指す。</p> <p>内容：出店62店舗、ステージ3ヶ所、地域と福祉一体のイベント</p> <p>対象：地域</p>	11月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ほどがや区民祭りの参加	<p>目的：区内すべてのケアプラザの担当職員の参加により、顔の見える関係性作りを図る。そしてケアプラザが地域住民にとって身近で気軽に相談・活動できる施設であることを理解してもらい今後の福祉保健活動に繋げる。</p> <p>内容：シールアンケートで地域住民の活動の様子を把握。また、ケアプラザの活動等の周知。</p> <p>対象：地域</p>	11月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアプラザ文化祭	<p>目的：当ケアプラザを利用している貸室団体が日頃の成果を発表しPR活動を通して新たな参加者を募る。</p> <p>内容：大正琴、日本舞踊、和太鼓、剣舞など演奏、踊りを12団体による披露。また書道、小物作り等創作団体による展示。</p> <p>対象：地域</p>	12月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
区内病院認知症講座	<p>目的：病院に診察に訪れる方やその家族を対象として認知症講座を開くことで普段ケアプラザに来る機会のない層へ認知症に関する正しい知識を持って頂く機会を作る。また、併せてケアプラザに関する周知活動も行うことで区内全体でケアプラザの認知度向上も目指す。</p> <p>内容：講演・取り組みの周知等</p> <p>対象：地域</p>	10月・3月 全2回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
新井小中学校 キャリア教育 プログラム参加	目的：地域の障害者施設の周知、障害福祉の理解 内容：地域にある障害者施設(グループホーム、作業場の紹介)。上菅田地域包括支援センターによる、包括の仕事、地域交流の仕事、またケアプラザの説明を行った。ボランティアグループによる身体表現即興ワークショップを実地、音楽や小道具を利用しながら即興で身体表現(創作ダンス的な) 対象：子ども	1月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護者のつどい(えがおの会)	目的：介護者を対象に、日頃の介護疲れや悩み、相談、情報交換等、家族同士が気軽に話し合える場を設定し、介護負担の軽減を図る。 内容：家族介護者、包括職員が同席し全員が現状を吐露できるように配慮しながらの場の設定。 対象：高齢者	年3回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
心に寄り添う 傾聴講座	目的：相手をありのままに受け止め、不安や孤独の軽減につながるコミュニケーションスキルを身に着け、ボランティア活動に繋げる。 内容：講義・ワーク・アンケート 対象：地域	7月 全1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
多職種連携連絡会	目的：医療機関とケアマネジャー、多職種が集まり地域包括ケアシステムネットワークの構築に向けて個別支援と地域課題の解決に向けて取り組む。 内容：勉強会、情報交換等 対象：地域住民	年1回実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
合同ケアマネ 連絡会	目的：ケアマネジャーのスキルアップを目的として、保 土ヶ谷区内7か所の地域包括と合同で毎月1回講座等を開催 する。 内容：専門機関等の講師を依頼しての勉強会や各機関等と の情報交換 対象：ケアマネジャー	毎月1回実施